

「日本統計年鑑」の電子媒体化について

(総合統計書の見直しのたたき台)

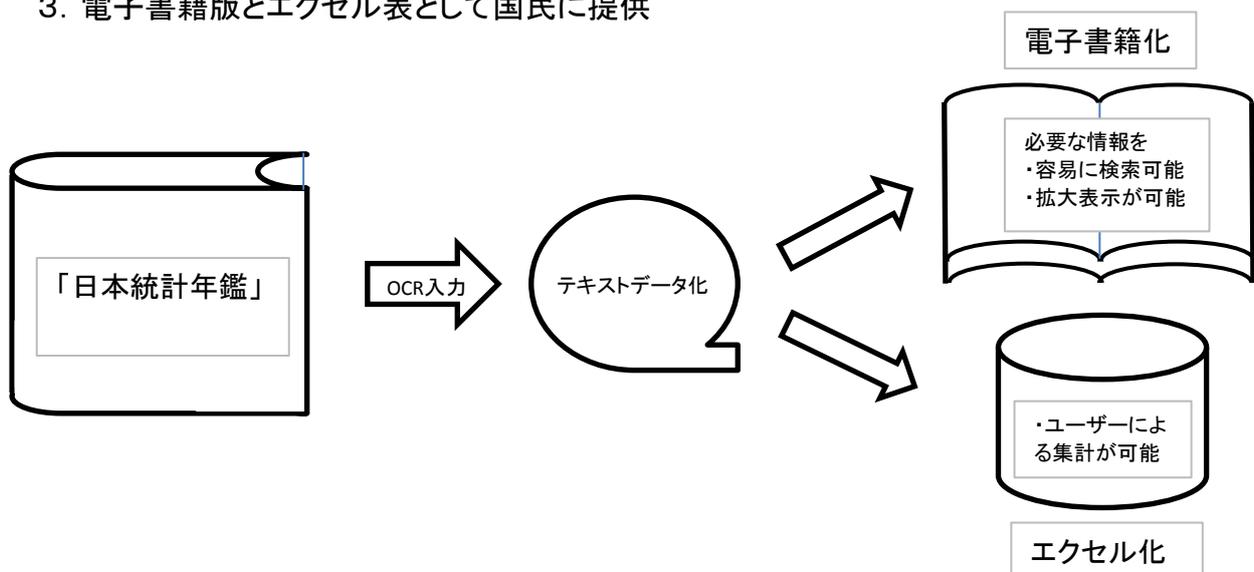
過去の書籍もPDF化して掲載

○第2回総合統計書に関する検討会における意見

- ・ 単純なPDF化ではなく、検索もできるもの。
- ・ 電子図書システムでの利用に適したもの。

「日本統計年鑑」電子媒体化の方向性(案)

1. 原稿をOCR入力しテキストデータ化
2. テキストデータをPDF(テキストデータ含む)及びエクセル化
3. 電子書籍版とエクセル表として国民に提供



○問題点

- ・過去のデータの遡及が困難(エクセル表を提供する場合の問題)
→公開に当たり、数値は発表時点のものと記載する。
- ・電子書籍データの容量の問題(PDF→1GB/冊、PDF+テキスト→1.5GB/冊)
→当面一部を公開とする(サーバ機器更改時に増強または外部機器を利用)

(参考)「日本統計年鑑等」の公開状況

- ・ホームページで、第61回から第64回までの4年分をEXCEL形式で掲載(一部PDF形式)
- ・統計図書館において、第1回から第64回まで書籍で閲覧可能